

令和6年度 図書館活動 目標・取組一覧

柱	番号	目 標	取 組 内 容
Ⅰ 子どもたちの心を豊かに育む図書館	1	児童サービスの充実	「聖籠町子ども読書活動推進計画」の着実な実行に努める。
			成長(年齢)に合わせた選書を行う。
			ブックスタート・ブックスタートプラス事業を実施する。
			「おはなし会」やボランティアによる「紙しばい会」を開催する。
			移動図書館の巡回と「読み聞かせ」を実施する。
			団体貸出や「調べ学習」などの資料提供支援を行う。
			訪問事業により、図書館の幅広い利用や活用につなげる。
			ティーンズ向け資料の充実・活用と情報発信を行う。
			認定こども園・幼稚園・司書教諭・学校図書館司書との情報交換により、現状と課題を共有する。
Ⅱ 地域に根ざし、暮らしに役立つ図書館	1	図書館利用の推進	調査・レファレンスについて、親切丁寧なサービスを提供する。
			県内外の図書館と連携し、利用者サービスの向上を図る。
			わかりやすいサイン設置により、利用しやすい環境整備を行う。
	2	図書館資料の収集提供	利用者ニーズに応じた資料の収集と提供を行う。
			地域・行政資料の収集・保存・提供を行う。
	3	情報発信の充実	広報・ホームページにより、積極的な情報発信を行う。
			テーマ展示やコーナー展示により、資料の提供を行う。
			「まち情報ギャラリー」を活用し、各種情報発信を行う。
Ⅲ 図書館誰もが集える	1	利用環境の整備	安心して利用できるよう安全管理と防災体制を整える。
			安全性・快適性を確保するため施設の点検や巡回を行う。
	2	各種事業の開催と支援	所蔵資料を活用した講座や学習会を開催する。
			趣味や作品発表など利用者の情報発信の支援を行う。
Ⅳ 生き生きと活躍する職員と町民	1	職員の充実	利用者サービスの低下を招くことのないよう適切な人員配置に努める。
			職員の資質を高め、利用者サービスの向上につなげる。
	2	関係団体との協働	ボランティア団体の活動を支援・育成し、利用者サービスの向上に努める。
			図書館協議会の開催により意見提案を求める。
	3	町民意見の反映	「みなさんの声」による要望に適切に回答反映させる。
			普段からコミュニケーションを図り利用者ニーズを意識する。

<評価段階>

自己評価（図書館職員）

指標別評価	評価基準	目標達成率
A	目標を達成できた	目標値の100%以上
B	目標をおおむね達成できた	目標値の80%以上100%未満
C	目標をあまり達成できなかった	目標値の50%以上80%未満
D	目標を達成できなかった	目標値の50%未満

外部評価（図書館協議会）

I～IVの事業項目の達成状況について各委員からA～Dのいずれかの評価を行っていただき、その評点平均点により、最終的に各項目のA～Dの総合評価を決定します。

各委員の評価

総合評価	評価基準	評点
A	目標を達成できた	3
B	目標をおおむね達成できた	2
C	目標をあまり達成できなかった	1
D	目標を達成できなかった	0

協議会の評価

総合評価	評価基準	各委員の評点の平均
A	目標を達成できた	2.8以上
B	目標をおおむね達成できた	2.0以上2.8未満
C	目標をあまり達成できなかった	1.0以上2.0未満
D	目標を達成できなかった	1.0未満

I 子どもたちの心を豊かに育む図書館

1 児童サービスの充実

- 【取組事項】
- ・「聖籠町子ども読書活動推進計画」の着実な実行に努める。
 - ・成長(年齢)に合わせた選書を行う。
 - ・ブックスタート・ブックスタートプラス事業を実施する。
 - ・「おはなし会」やボランティアによる「紙しばい会」を開催する。
 - ・移動図書館の巡回と「読み聞かせ」を実施する。
 - ・団体貸出や「調べ学習」などの資料提供支援を行う。
 - ・訪問(受入れ・出張)事業により、図書館の幅広い利用や活用につなげる。
 - ・ティーンズ向け資料の充実・活用と情報発信を行う。
 - ・認定こども園・幼稚園・司書教諭・学校図書館司書との情報交換により、現状と課題を共有する。

〈評価の指標〉

指 標	R5年度実績	令和6年度目標値	R6年度実績	達成率	指標別評価
①児童図書貸出冊数	57,390冊	58,000冊	52,139冊	89.9%	B
②0～18歳貸出利用者数 ※1	5,815人	6,000人	5,531人	92.2%	B
③児童図書蔵書冊数	53,942冊	54,300冊	54,854冊	101.0%	A
④おはなし会参加者数 ※2	418人	400人	345人	86.3%	B
⑤団体貸出利用冊数	20,760冊	21,000冊	17,515冊	83.4%	B
⑥訪問(受入れ・出張)事業参加者数	1,652人	1,600人	2,290人	143.1%	A
⑦移動図書館車貸出冊数 ※3	6,698冊	7,000冊	7,986冊	114.1%	A
⑧幼稚園・学校担当者会議の開催数	6回	7回	6回	85.7%	B

【参考】 ※1 貸出利用者数の内訳

	0～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳
R6年度	1,842人	3,373人	188人	128人
R5年度	2,115人	3,428人	182人	90人

※2 おはなし会の内訳

ぐるんぱの部屋	23回	100人
季節のおはなし会	7回	96人
赤いふうせん紙しばい会	11回	110人
その他	2回	39人
計		345人

※3 小学校別貸出冊数

蓮野小	2,956冊
山倉小	2,930冊
亀代小	2,036冊
計	7,922冊

《用語の説明》

「団体貸出」… 町内の各種団体に対して1か月間100冊を上限に図書資料を貸し出す制度
「訪問事業」… 認定こども園、幼稚園、小学校との連携事業で出張訪問したり受け入れる
「移動図書館車」… 3小学校へ冬休み・夏休みを除き月2回巡回し、貸し出しを行っている

〈図書館職員自己評価〉

【成果と課題】

団体貸出冊数の減少は、令和6年度からコンテナ1箱あたりの冊数上限を50冊から35冊に減らしたことや、移動図書館車が新車になったことで連絡車業務に対応できなくなったことなどが影響している。一部の団体では箱数を増やして対応しているが、クラス数の多い小学校などではそれが難しく、結果として貸出冊数が減ってしまっている。設備面での制約はあるが、今後も小学校などと連携し、こどもたちが本に触れる機会の提供に努めたい。

一方で、新しい移動図書館車には目新しさや公募で決定した愛称「としよまる」により親しみを感じてもらえたこともあり、貸出冊数は増加している。積載冊数は減ったものの、ニーズに沿った選書を行うことで、今後も利用促進を図りたい。

再編されたこども園との連携が進み、訪問事業は順調に推移している。認定こども園からの依頼数・実施回数・参加者数ともに前年度より増加しており、園側にも訪問事業を積極的に活用しようとする意識が高まっている。今後も園との連携を強化し、こどもたちが本と触れ合う機会をさらに広げていきたい。

「ぐるんぱのへや」では、参加者が0人である回もあり、また10周年記念事業との重複により「きせつのおはなし会」の開催回数が1回減ったことも、全体の参加者数減少に影響している。「ぐるんぱのへや」については、ブックスタートや訪問事業を活用して、乳幼児の保護者への広報を工夫し、事業の認知度向上に努めたい。

〈図書館協議会の評価〉

【評価内容】

・訪問事業参加者数や移動図書館車の貸出冊数が目標を大きく上回った点は、こども園や学校との連携の深化と職員の積極的な働きかけの成果であり、高く評価される。

一方で、0～6歳の貸出利用者数の減少は顕著であり、要因を早急に分析し、早期からの読書習慣の定着に向けた取り組みが求められる。

・貸出冊数や利用者数の目標未達が続いている現状に対しては、実数目標から対象人口を分母とした比率目標への見直しを求める声が寄せられた。

・おはなし会については、参加者数にこだわらず継続を望む意見があり、また、ブックスタート事業の継続と充実を期待する意見も見られた。

総合評価

B

Ⅱ 地域に根ざし、暮らしに役立つ図書館

1 図書館利用の推進

- 【取組事項】 ・調査・レファレンスについて、親切丁寧なサービスを提供する。
 ・県内外の図書館と連携し、利用者サービスの向上を図る。
 ・わかりやすいサイン設置により、利用しやすい環境整備を行う。

指 標	R5年度実績	R6年度目標値	R6年度実績	達成率	指標別評価
①入館者数	68,805人	69,000人	66,731人	96.7%	B
②レファレンス件数（課題解決）	85件		65件		
③〃（所蔵照会）	2,996件		2,826件		
④相互貸借数（貸出・借受）	240件		204件		

2 図書館資料の収集提供

- 【取組事項】 ・利用者ニーズに応じた資料の収集と提供を行う。
 ・地域・行政資料の収集・保存・提供を行う。

指 標	R5年度実績	R6年度目標値	令和6年度実績	達成率	指標別評価
①総貸出点数	127,730点	128,000点	118,918点	92.9%	B
②有効登録者数 ※1	2,768人	2,800人	2,782人	99.4%	B
③予約・リクエスト件数	1,604件	1,650件	1,512件	91.6%	B

3 情報発信の充実

- 【取組事項】 ・広報・ホームページにより、積極的な情報発信を行う。
 ・テーマ展示やコーナー展示により、資料の提供を行う。
 ・「まち情報ギャラリー」を活用し、各種情報発信を行う。

指 標	R5年度実績	R6年度目標値	令和6年度実績	達成率	指標別評価
①定期的なホームページの更新（回数）	62回	62回	108回	174.2%	A
②テーマ展示・コーナー展示実施回数※2	151回	130回	153回	117.7%	A

【参考】 ※1 有効登録者数の内訳

	町内	町外	計
R6年度	1,759人	1,023人	2,782人
R5年度	1,733人	1,035人	2,768人

※2 対象別実施回数

	一般	YA（ティーンズ）	児童	計
R6年度	64回	34回	55回	153回
R5年度	64回	35回	52回	151回

《用語の説明》

- 「レファレンス」… 利用者が求める資料や情報を探したり調べること
 「相互貸借」… 利用者が読みたい資料がない時、他の図書館から借りて提供すること
 （又は、当館の資料を他館に貸し出すこと）
 「有効登録者数」… 登録者のうち当該年度に実際に図書館から本を借りた人数
 （登録していても借りなければカウントされない）
 「予約」… 貸出中の本が返却されたら順番に借りられるサービス
 「リクエスト」… 当館に無い本を読みたい場合、購入して提供するサービス
 （予算の範囲内のサービスなので提供できない場合もある）

〈図書館職員自己評価〉

【成果と課題】

10周年記念事業によりイベント案内の頻度が増し、テーマ展示・コーナー展示の紹介も変更があればその都度行うなど、情報発信を強化した。テーマ展示・コーナー展示は年間150回以上の頻度で更新されており、定期的な内容に加えて、時事に即したミニ展示も実施するなど、利用者のニーズを意識した工夫がされている。担当職員もやりがいを持って取り組んでおり、展示内容の充実につながっている。これらの展示は利用者が新たな本に出会うきっかけにもなるため、今後も魅力ある展示づくりを継続していきたい。

レファレンス件数、相互貸借件数、予約・リクエスト件数は前年度比で微減となったが、これは館内の環境整備により、利用者自身が資料にたどり着きやすくなっていることや、必要な資料が当館に所蔵されていることが要因と考えられる。今後も引き続き利用しやすい環境を整備するとともに、レファレンスや相互貸借、リクエストサービスについても、より気軽に利用してもらえるよう周知に努めたい。

有効登録者数はわずかに増加したものの、貸出点数は減少している。団体貸出の冊数制限の影響に加え、個人貸出の減少も見られる。イベントなどを通じて新たな利用者呼び込むとともに、継続して利用してもらえるような取り組みを進めていきたい。

〈図書館協議会の評価〉

【評価内容】

- ・ホームページ更新や展示の充実など、職員の工夫や意欲的な取組が図書館の魅力向上につながっており、高く評価された。館内の展示は来館者の興味を引く構成となっており、「行きたい図書館」としての存在感が増している。
- ・レファレンス件数の減少については、環境整備や情報発信の効果で、利用者自身が資料を探しやすくなった結果と捉える意見が多かった。
- 一方、入館者数や貸出冊数の減少、有効登録者1人当たりの貸出数の低下には引き続き注視が必要であり、貸出につながる仕掛けや分析が求められる。
- ・子ども連れにも配慮した空間づくりや、イベントによる新たな利用者の獲得にも期待が寄せられた。今後も地域に根ざした、楽しく親しまれる図書館運営を望む。

総合評価

B

項目別評価票

3/4

Ⅲ 誰もが集える図書館

1 利用環境の整備

- 【取組事項】 ・安心して利用できるよう安全管理と防災体制を整える。
・安全性・快適性を確保するため施設の点検や巡回を行う。

〈評価の指標〉

指 標	R5年度実績	R6年度目標値	令和6年度実績	達成率	指標別評価
①消防・防災訓練（回数）	2回	2回	2回	100.0%	A
②館内・館外巡視（1日あたりの巡視回）	4回	4回	4回	100.0%	A

2 各種事業の開催と支援

- 【取組事項】 ・所蔵資料を活用した講座や講演会を開催する。
・趣味や作品発表など利用者の情報発信の支援を行う。

〈評価の指標〉

指 標	R5年度実績	R6年度目標値	令和6年度実績	達成率	指標別評価
①一般向け事業（回数）	25回	25回	28回	112.0%	A
②子ども向け事業（回数）	8回	8回	11回	137.5%	A

〈図書館職員自己評価〉

【成果と課題】

開館10周年を記念して年間を通じて多彩なイベントを実施し、事業数も増加した。職員の負担は大きかったが、新たな企画にチャレンジし、利用者の反応も良好だった。特に家族で参加できる催しや10周年記念事業「しげちゃん一座がやってくる！」には町内外から多くの来場があり、図書館の魅力を広く発信できた。

今後も「だれでもが学び、培い、集い、情報を活用できる、暮らしのなかの図書館」として、魅力ある事業を企画していきたい。

〈図書館協議会の評価〉

【評価内容】

- ・開館10周年記念事業をはじめ、年間を通じて多彩なイベントが実施され、誰もが集える図書館としての取組が大きく評価された。
- ・「しげちゃん一座がやってくる！」など新規企画への挑戦により、図書館の魅力が広く発信され、町内外から大勢の参加もあり好評であった。一方、事業の充実に伴い職員の負担も大きかったとの意見もあり、今後は継続可能な体制の整備にも留意されたい。
- ・今後も世代を問わず参加できる事業を展開し、引き続き多様な人々が集える図書館づくりに努められたい。

総合評価

A

Ⅳ 資格を持った職員と町民が生き生きと活躍する図書館

1 職員の充実

- 【取組事項】 ・利用者サービスの低下を招くことのないよう適切な人員配置に努める。
・職員の資質を高め、利用者サービスの向上につなげる。

〈評価の指標〉

指 標	R5年度実績	R6年度目標値	令和6年度実績	達成率	指標別評価
①正規職員数	8人		8人		
②会計年度任用職員	8人		8人		
③会計年度任用職員（短時間）	1人		0人		
④職員研修実施回数（外部及び館内）	17回	10回	8回	80.0%	B
⑤司書会議及び選書会議の回数	64回	55回	62回	112.7%	A

2 関係団体との協働

- 【取組事項】 ・ボランティア団体の活動を支援・育成し、利用者サービスの向上に努める。
・図書館協議会の開催により意見提案を求める。

〈評価の指標〉

指 標	R5年度実績	R6年度目標値	令和6年度実績	達成率	指標別評価
①ボランティア活動日数 ※1	100日		91日		
②図書館協議会開催回数	4回		4回		

注：図書館協議会開催回数に正副委員長会議、令和6年度新潟県公共図書館総合部門研究集会参加を含む。

【参考】 ※1 団体別活動日数の内訳

図書館ネットiせいろう	39回
赤いふうせん	20回
キャンディ倶楽部	31回
スクラップボランティア「スヌ」	1回

3 町民の意見反映

- 【取組事項】 ・「みなさんの声」による要望に適切に回答反映させる。
・普段からコミュニケーションを図り利用者ニーズを意識する。

〈評価の指標〉

指 標	R5年度実績	R6年度目標値	令和6年度実績	達成率	指標別評価
①「みなさんの声」投稿数	10件		6件		

〈図書館職員自己評価〉

【成果と課題】

今年度は著作権やレファレンスに関する研修を行ったが、10周年記念事業の影響で職員研修の実施数は減少した。

一方で、これまでの継続した取組により、司書ミーティングの定着や職員間の学び合いが進んでいる。これらも引き続き重視したい。

加えて、会計年度任用職員（短時間）の人員減により、返本作業が滞る場面がある。今後は職員全体で協力し対応していく方針である。

〈図書館協議会の評価〉

【評価内容】

・職員研修の回数は減少したが、内容の充実と職員間の学び合いが継続されており、意欲的な取り組みがうかがえる。ミーティングやイベント準備を通じたコミュニケーションも活発である。

・人員減少など外的要因があるものの、柔軟な対応が見られ、安心して利用できる図書館運営がなされている。

・今後は、多様な子どもたちへの読書環境整備を含む推進計画に沿った具体的な取り組みや、専門性を高める研修の充実が望まれる。

・職員と町民が共に生き生きと関わる図書館を目指し、イベント開催なども積極的に進めてほしい。

総合評価

B